

建築計画各論
Design by Building Type

教員名	横田 隆司(よこた たかし)、飯田 匡(いいた ただす)								
教員連絡先 (研究室所在地・TEL)	吹田キャンパス S1棟8階823室(横田)、825室(飯田) 電話: 06-6879-7647(横田)、06-6879-7648(飯田)								
E-MAILアドレス	yokota@arch.eng.osaka-u.ac.jp(横田)、iida@arch.eng.osaka-u.ac.jp(飯田)								
履修対象	地球総合工学科建築工学コース(3年次)								
単位	2	セメスター				5			
受講条件	居住環境計画を履修していることが望ましい。								
授業の教育目的・目標 他科目との関連	建築計画各論について必要な知識を習得する。事務所建築、博物館・美術館、劇場・コンサートホール、図書館、商業建築、医療施設、複合建築について、それらの歴史、機能、配置計画、平面・断面構成、各部の計画など、建築の企画や設計に必要な基礎知識を体得する。 建築設計第3・4部との関連が深いので、具体例を示しながら設計との関連を意識した講義内容になる。								
学習・教育目標	A	B	C	D	E	F	G	H	
	○		◎					○	
授業計画・概要	テーマ	概要						学習・教育 目標	
	劇場・コンサートホールの計画(2回)	(1)ヨーロッパの劇場・コンサートホールの変遷、日本の能・狂言舞台と歌舞伎劇場についての概説、ならびにホールの全体計画に関する基礎的知識を身につける。(包括1回) (2)舞台の計画、客席部の計画、舞台裏の計画等、各部の計画についての専門知識を身につける。(高度1回)						ACH	
	博物館・美術館の計画(2回)	(1)博物館・美術館の歴史、定義、種類、全体計画に関する基礎的知識を身につける。(包括1回) (2)各部の計画に関する専門知識を身につける。(高度1回)						ACH	
	図書館の計画(2回)	(1)図書館の歴史、種類、役割に関する基礎的知識、および全体計画に関する基礎的知識を身につける。(包括1回) (2)各部の設計に関する専門知識を身につける。(高度1回)						ACH	
	複合文化施設の計画(1回)	複合文化施設が求められる社会的背景、複合建築の企画、複合化によるメリット・デメリット、複合建築に固有の課題(社会的影響、防災計画等)に関する基礎的知識を身につける。(高度1回)						ACH	
	商業建築の計画(2回)	(1)商店の歴史と発展、および商品の種類と買物行動について学ぶ。(包括1回) (2)商業施設の種類、売場計画、防災安全計画、商業機能の複合化、魅力ある商業施設計画の手法に関する専門知識を身につける。(高度1回)						ACH	
	事務所建築の計画(2回)	(1)事務所建築の出現と高層化の過程、日本における事務所建築の変遷を理解する。(包括1回) (2)全体計画、各部の計画、庁舎建築、インテリジェントビルの計画に関する専門知識を身につける。(高度1回)						ACH	
	医療施設の計画(2回)	(1)医療施設の歴史、種類、および全体計画に関する基礎的知識を身につける。(包括1回) (2)各部の計画に関する専門知識を身につける。(高度1回)						ACH	
	複合業務施設の計画(1回)	複合業務施設が求められる社会的背景、複合建築の企画、複合化によるメリット・デメリット、複合建築に固有の課題(社会的影響、防災計画等)に関する基礎的知識を身につける。(高度1回)						ACH	
	学期末試験(1回)								
教科書	岡田光正、柏原士郎他著「建築計画2[新版]」、鹿島出版会								
参考図書・文献等	岡田光正、柏原士郎他著「建築計画1[新版]」、鹿島出版会 日本建築学会編「建築設計資料集成」、丸善								
成績評価方法・評価基準	期末試験(80%)および小レポート(20%)で評価する。								
オフィスアワー	随時e-mailにて対応する。								
コメント	授業評価アンケートの結果等を参考にして講義内容を改善します。								